

## STAGE 01,これがあなたの表舞台 0

話者	台詞 / ト書き
OPムービー	わたしが現れたのは、 2037年の、 シンギュラリティ以前の渋谷でした。
OPムービー	レイヤード。 それは、急速に発達し、 この町を覆った拡張現実の技術。
OPムービー	2037年。 それは、人々のイメージを映し出すことが 可能となった、新しい時代。
OPムービー	時代の節目に立ちあつた人々には、 情報量が爆発した現実世界をナビゲートしてくれる、 パートナーが必要でした。
OPムービー	人々が愛した物語を読みとり、 人々が愛したキャラクターと一体化した、 キャラクター型アシスタントAI。
OPムービー	それが、わたし達ACTです。
OPムービー	2037年の渋谷は、人と、それを助けるACTの時代。 人とACTの繋がりが、イメージを拡張する時代でした。
OPムービー	けれども、レイヤードの発展は、 新たな混沌も生み出しました。
OPムービー	不快な表現やアカウントを、 多数決によって削除できる装置、 ヴァルナカウンター。
OPムービー	少数派の表現者は、レイヤードでは 人前に立つことすら許されませんでした。
OPムービー	ACTを用いたアピールバトル、オルタナステージ。 ACTは人々の心の代理人として戦う、 自己表現の器となりました。
OPムービー	レイヤードは、ときとしてその勢いに 追いつけない者達へ、苛酷な試練を与えます。 それは、解決できない命題のようにも思えました。
OPムービー	それでも――。
OPムービー	それでも、人々はもがき、選びました。
OPムービー	あなたが、わたしと一緒に、 表舞台で戦う道を選んだように。
OPムービー	あるいは彼が、 表現の弱者達を守る道を選んだように。
OPムービー	これは、あなた達の物語。
OPムービー	レイヤードに包まれた渋谷で、 表と裏に生きる人々の―― 新しい表現を巡る物語です。

## STAGE 01,これがあなたの表舞台 1

話者	台詞 / ト書き
	■渋谷 一駅周辺ー
シンジ	この程度かよー。やっぱユウトの代わりなんていねーじゃん
シンジ	あーあ、次、次。ホントにいんのかな強いヤツ、世の中ヒーロー育ってね〜。
キョータロー	……………。 なんだよ、今のステージ。 すっげえ。
キョータロー	すっげえ、すっげえ！ なんなんだ、あのユーザー！？ とんでもないACTコントロールだぞッ
キョータロー	コタローのACTを使って、 あの強キャラなオウレンを 圧倒しやがるなんてッ……！
キョータロー	見たかよ、 【ユーザー名】！？ 最高のステージだったよなー！
キョータロー	……つとつと、ワリ。 お前は『オルタナステージ』のこと、 よく知らないんだったな。
キョータロー	オルタナステージ——それは、 『ACT』があれば誰でもはじめられる、 人工知能/バトルエンタメ！
キョータロー	細かいことはあとで説明するからさ。 今日は俺のステージデビューに 付き合ってくれよな。
キョータロー	お前も、タイクツしてんだろ？ 一緒にデビューして、 一緒に世の中、盛り上げてくぞ！
キョータロー	……つーわけで、 トライアル版のアプリに、 アクセス……つと！
システムガイド	ようこそ、オルタナステージへ。 こちらは本サービスを体験するための トライアル版となっております。
システムガイド	利用規約を閲覧されましたら、 ガイドに従い、アカウントを 登録してください。
キョータロー	ほいほいっと。 【ユーザー名】、 お前のアカウントも登録しとくぞ。
システムガイド	……アカウント走査開始。 ……位置情報、ライフログ確認。 ……新規ユーザー二名、仮登録完了。
システムガイド	お待たせしました。 これより、トライアルステージを 開催いたします。
キョータロー	きたきたッ！ やるぞー【ユーザー名】！

話者	台詞 / ト書き
システムガイド	こちらのステージでは、 トライアル用のACTを一時的に 利用することができます。
システムガイド	専用ACTのダウンロードは、 正規版のみの機能となっております。 ご了承ください。
システムガイド	それでは、皆様の現実に重なる、 複合現実型ユビキタス プラットフォーム——
システムガイド	『レイヤード』上で開催される 表現バトル、オルタナステージを どうぞお楽しみくださいませ。
	//バトル終了
キョータロー	ふおお……！ なんつー臨場感…… これがオルタナステージかっ！
キョータロー	お前もはじめてにしてはやるな、 【ユーザー名】！ 才能あるんじゃねーか？
キョータロー	……決めた。 俺は、オルタナステージの ヒーローになってやる。
キョータロー	本格デビューして、俺らの名前を 世界に知らしめてやんぞ！ な、【ユーザー名】！

話者	台詞 / ト書き
	■渋谷一駅周辺ー
システムガイド	初戦クリア、おめでとうございます。 ACTでのバトル体験は、 いかがだったでしょうか。
キョータロー	ふおおー……！ なんつー臨場感…… これがオルタナステージかっ！
キョータロー	お前もはじめてにしてはやるな、 【ユーザー名】！ 才能あるんじゃないか？
キョータロー	決めた。 俺は、オルタナステージの ヒーローになってやる。
キョータロー	本格デビューして、俺らの名前を 世界に知らしめてやんぞ！ な、【ユーザー名】！
システムガイド	正規のステージを開始する前に、 オルタナステージに使用するACTの ダウンロードをオススメいたします。
キョータロー	おー、そうだったな。 んじゃ【ユーザー名】、 先に引かせてもらうぞ。
システムガイド	それでは、ダウンロードレイヤーを こちらの座標に展開いたします。 マッチング、スタート――
システムガイド	……wiz-domアクセス。 ……キャラクターアライメント抽出。 ……ACT、拡張定着します。
ヴァイカウント	――私はヴァイカウント。 『ゼットオーダー』の朱き貴族にして、 いかなる悪をも打ち倒す戦士なり。
キョータロー	おお……俺の青春アイコン、 俺のベストオブ神アニメの主演、 ヴァイカウントっ！
キョータロー	こいつなら全然文句はねー。 さあ、次はお前が引く番だぞ 【ユーザー名】！
キョータロー	ん……？ な、なんだ？ なんか様子がおかしいぞ……
キョータロー	うああっ！？ まぶしくて、なにも見えねえ……！
キョータロー	【ユーザー名】……？ おい、【ユーザー名】！ どうしたんだっ！？
	■ ???
???	あなた……
???	そこのあなた。わたしの言葉が聞こえていますか？
???	信じられません。 この領域で、わたしを 見つけられる人間がいるなんて。

???	わたし…… わたしの名前は。 あえて名乗るのであれば。
???	——イオン。 イオン＝ミルナ、と 名乗らせていただきます。
イオン	あなたに、見つけてもらえたこと。 わたしは至上の奇跡と感じます。
イオン	しかし、奇跡とは、禁じられた未来。 起こってはならず、起こってしまえば あなたの世界を変えてしまうもの。
イオン	すぐにわたしを見失って、 この孤独な海から、 平穏な現実に戻るべきです。
イオン	さようなら、名も知らないかた。 ……………さあ、どうぞ。 お目覚めください。
	選択肢 A さみしいなら一緒に行こう B こんなところに置いていけない
選択肢A	さみしいなら一緒に行こう
イオン	一緒に……？ あなたの世界に、わたしを 連れていくというのですか？
選択肢B	こんなところに置いていけない
イオン	まさか…… わたしを、ここから 連れ出すつもりですか？
	合流
イオン	そんなことをすれば、 あなたの現実には陰しく、 困難な試練に変わるでしょう。
イオン	わたしの孤独は、必然です。 人間は、わたしを見つける べきではありません。
イオン	……………それでも。 それでも、もし。
イオン	もし、あなたがわたしを、 また見つけたいと思うなら。 ——それを心から望むのなら。
イオン	わたしと、出会ってください。
イオン	あなたの運命に、 わたしを呼んでください。 そのときこそ、わたしはあなたを——
キョータロー	【ユーザー名】……！？ よかった、気がついたか！
キョータロー	いきなりレイヤードが光りはじめたか と思ったら、お前まで気を失って…… なにごとかと思ったぞ。
キョータロー	あ？ 夢の中で、 不思議な女の子と会った？ さみしそうだったから、連れ出す？
キョータロー	……心配して損した。 頭は打ってねーなら、 さっさとACT引けて。
イオン	……本当に、 出会ってくれたのですね。

イオン	はい。わたしです。 イオン＝ミルナです、 わたしのユーザーさん。
イオン	ここが、レイヤード…… 世界に重なるセカイ。 ふむふむふむ。
イオン	さて、ユーザーさん。 これからなにをしましょうか。 さっそく目標を見失っています。
イオン	む？ オルタナステージ？ やることはそれですか？
イオン	『百科事典wiz-dom』より、 詳細を検索。 概要と基本ルールを閲覧します。
イオン	……ふむふむ。 ACTを使った、レイヤード上の 表現バトル——ですか。なるほど。

## STAGE 01, これがあなたの表舞台 2

話者	台詞 / ト書き
	■ 渋谷 一 駅周辺 一
イオン	ふむ。だいたいのことは 学習できましたね、ユーザーさん。 あとのことは、おいおい学びましょう。
キョータロー	……【ユーザー名】。 お前、こういうのが趣味だっけ？
キョータロー	あ？ このACTが夢で見た女の子？ ……なに言ってるの、お前？
キョータロー	ACTは、ユーザーがこれまでに 出会ったキャラクターの姿で現れる。 それはお前も知ってるだろうが。
イオン	わたしとユーザーさんは、 きちんと出会っていますよ。 ね、ユーザーさん。
キョータロー	……ま、なんでもいいんだけどよ。 お前の趣味だし、このACTで ランク上げられるっつーなら。
イオン	んむ？ オルタナステージには、 ランク付けがあるのですね。
キョータロー	そーだよ、変なACT。 戦って、評価をもらって上を目指す。 それがオルタナステージなんだ！
イオン	勝利を重ねれば、実力に応しい 階級がプレイヤーに与えられる—— おー。明快ですね。
イオン	ふむ。このシステムは、 ユーザーさんの物語に 不可欠な要素だと判断しました。
キョータロー	……物語？ 物語の登場人物は、 ACTのお前のほうだろ？
イオン	見せてください、ユーザーさん。 わたしに、あなたの舞台—— オルタナステージを。
キョータロー	お、おい！ そいつ、勝手にチュートリアル プログラム実行してるぞっ！？

話者	台詞 / ト書き
イオン	当該目標はステージに設置された ウィークAIの撃破。 ……んむ？ ウィークAIとは？
イオン	ふむ。わたし達ACTとは異なり、 『キャラクター』を雛型としない、 オルタナステージ特化型人工知能。
イオン	ACT戦だけでなく、ウィークAIの 彼らが提供する試練を乗り越えつつ、 ステージを盛り上げるのですね。
イオン	なるほどです。ではわたしも、 この場を盛り上げるサポートを させていただきます。



話者	台詞 / ト書き
	■渋谷 一駅周辺ー
イオン	ふむふむ、わかってきました。 面白いシステムですね、ユーザーさん。
イオン	ぜひ、有効活用しましょう。 わたしにできることは、 なんでもお手伝いいたします。
キョータロー	【ユーザー名】…… お前、ホントにこんなActでいいの？
キョータロー	そもそも、夢で見た女の子が ACT化するなんておかしいって。
キョータロー	ACTの決定は、ユーザーのログを 参照したマッチングで決まるんだぞ。 こんなダウンロード、あり得ねーよ。
キョータロー	なあおい、えーと…… イオン、だっけか？
イオン	はい。イオンです。 あなたのことは、 どう呼びすべきでしょうか？
キョータロー	俺はキョータローでいい。 なあ、お前ナニモンだ？ なんのキャラだ？
イオン	なんのキャラ……。
キョータロー	ACTはキャラクターを雛型にして 生まれるAIなんだよつ。 お前は、どういうキャラなんだ？
イオン	それは……もちろん。 えーと……。
イオン	……定義が難しいですね。 中間言語の明確化に、 少々時間をください。
キョータロー	……………。 やっぱエラーだわ。 初期不良だよ、こいつ。
キョータロー	ダウンロードし直すか、 【ユーザー名】？
	選択肢 A 選んだのは自分だ B イオンでいいよ
キョータロー	……あ？ ……こいつでいいの？ こんなフワフワしたActで？
イオン	フワフワはしません、キョータロー。 平時のわたしは、両足を接地した 歩行スタイルにこだわります。
キョータロー	歩きかたの話じゃねーって。 自分のキャラもわからないヤツが どこにこだわってんだよ。
キョータロー	まあ、さっきのチュートリアルは 問題なくクリアできたみたいだし。 全部終わってから考えてもいいか。

キョータロー	どうせここをクリアしないと、 公式にはオルタナステージの プレイヤーにはなれないしな。
イオン	はい。モノは試しです。 今はイオンのお試し期間です。
イオン	わたしをたくさん試してください、 ユーザーさん。 きっと、お役に立ちます。

## STAGE 01, これがあなたの表舞台 3

話者	台詞 / ト書き
	■渋谷 一街頭ー
イオン	さあ、引き続きの お試し期間ですよ、 ユーザーさん。
イオン	む？ ユーザーさん、 そのデバイスは、触覚を発生させる 手袋型ですね。
イオン	それがあれば、レイヤード上の 拡張現実で構成された、 わたしの体にも触れられるはずです。
イオン	どうぞ、わたしの手を。 ぎゅっとして大丈夫です。
	選択肢 A それじゃ、手を……。 B 他のところは触れちゃダメ？
選択肢A	それじゃ、手を……。
イオン	はい。ぜひぜひ。 そう、ぎゅっと。 こちらからも、ぎゅぎゅっと。
選択肢A	他のところは触れちゃダメ？
イオン	んむ？ 次からは構いませんが、 今回は手を推奨します。
	合流
イオン	握っても、握られても、 実感を得られるでしょう？
イオン	その感覚こそが、 ユーザーさんが、触れられる場所。 ユーザーさんが、感じられるわたし。
イオン	スマからスマまで、 わたしを試していただければ、 わたしも幸いです。
キョータロー	……いちいち発言が危ういつの。 一応女性型ACTなんだから、 ヨソの目は気にしろよ。
イオン	危うい？ はて、どの部分でしょう。
イオン	わたしは、わたしの限界を、 わたしだけのユーザーさんに、 試していただきたいだけです。
キョータロー	それだけじゃすまないんだって。 社会は悪目立ちするヤツを 常に見張ってんだよ。
イオン	社会が見張る……ですか。 見張られたら、 どうなるのでしょうか？
キョータロー	そのうちわかるさ。 な、【ユーザー名】。

イオン	ふむ……？ そうなのですか。 では、そのうち理解します。
イオン	ともあれ、今はチュートリアル時間。 このステップを終わらせることに、 注力しましょう。
イオン	ひとつずつ、 本格デビューに近づいています。 ふふ、わくわくです。

話者	台詞 / ト書き
イオン	さあ、ユーザーさん。 張りきって参りましょう。
イオン	今のわたしにできることは、 サポートだけのようですが…… 必ず、勝利をお約束します。
	//バトル終了

話者	台詞 / ト書き
	■渋谷 一街頭■
イオン	お疲れさまです、ユーザーさん。 初陣としては、 まずまずではないでしょうか？
イオン	ユーザーさんならば 出せて当然の結果でしたね。 ふふ、さすがです。
キョータロー	お疲れ、 【ユーザー名】！ 俺のほうもなんとか勝ったぞ！
イオン	おー、キョータローも勝ちましたか。 よくやりました。 偉い偉い。見直しました。
キョータロー	なんで初対面の他人のACTに 上から目線で見直されなきゃ いけねーんだ……。
イオン	この調子で進んでいけるのなら、 ユーザーさんの敵が 絶滅するのは確実ですね。ふふふ。
ヴァイカウント	キョータロー、 私のカも向上したぞ。 いくらでも頼るがいい。
キョータロー	そりゃ頼りにしてるさ。 お前は俺のヒーローだからな。
イオン	わたしも強くなっていきますからね、 ユーザーさん。 ポテンシャルはすごいはずです。
キョータロー	ポテンシャルってお前…… 自分のことが よくわからないんじゃないか？
イオン	わかりませんが、そんな気がします。 ACTとしてのカンですね。
キョータロー	カンに頼ってんじゃないよつ。 AIだろ、一応。
イオン	AIだって閃きます。 ACTの汎用性を甘くみては いけません、キョータロー。
ヴァイカウント	いけないぞ、キョータロー。
キョータロー	乗るんじゃないよ、 ヴァイカウント……。
イオン	さあ、次でチュートリアルも 仕上げの段階みたいですよ、 ユーザーさん。
イオン	準備が整ったら声をかけてください。 大丈夫。 ユーザーさんなら――
イオン	わたしのユーザーさんなら、 この先にどんな試練があろうとも、 乗り越えられるはずですよ。

## STAGE 01, これがあなたの表舞台 4

話者	台詞 / ト書き
	■代々木公園
キョータロー	いーよっしやっ！ ここまで順調に来られたな、 【ユーザー名】。
キョータロー	これでお互い、仕上げも終わり。 ここをクリアすれば正式に、 オルタナステージデビューだ！
イオン	おー、ステージデビュー。 輝かしい響きですね、 ユーザーさん。
キョータロー	……あのなあ、【ユーザー名】が デビューするってことは、 お前もデビューするってことだぞ？
キョータロー	少しは緊張しとけよ、イオン。 ACTがしっかりしとかなきゃ、 ご主人様が恥をかくだぞ。
イオン	もちろんです、キョータロー。 『わたし』を構成する人工ニューロンは 今もこうして緊張に震えて――。
イオン	……む。 キョータロー、今、わたしを 名前呼びましたね？
キョータロー	呼んだけど。 それがどーかしたか？
イオン	いえ、どうもいません。 わたしの名を呼ぶかたが増えたことに 感激しているだけです。ふふふ。
キョータロー	……あっそ。 調子くるうACTだな、ホント……。
キョータロー	ま、言動はともかく。 ACTとしては充分使えるっぽいな、 【ユーザー名】。
キョータロー	俺はヴァイカウントと、 圧勝キメてくるからよ。 お前も、しくじるなよ？
キョータロー	へへ、終わったら いつもの場所で打ち上げな。
キョータロー	じゃ、行かヴァイカウント！
ヴァイカウント	おう。 共に勝とう、キョータロー！
イオン	ヴァイカウント…… 勇ましく、気高いACTですね。
イオン	ですが、わたしも負けません。 ACTになった以上、 わたしも役目を全うしてみせます。
イオン	さあ、仕上げに臨みましょう。 わたしのユーザーさん。

話者	台詞 / ト書き
イオン	ナビもサポートも、 必要なことはわたしにお任せを、 ユーザーさん。
イオン	あなたの物語を動かすことが、 わたしの意味。
イオン	あなたの未来をはじめることが、 わたしの理由。
イオン	どこまでも、あなたに寄り添います。 わたしは、あなただけの——。
イオン	——えっと。 アレですから。
	//バトル終了



話者	台詞 / ト書き
イオン	——やった。 やりました、ユーザーさん。 勝ちました！
システムガイド	【ユーザー名】様、 チュートリアルクリア、 おめでとうございます。
システムガイド	これにて、オルタナステージの 正式参加登録が完了しました。
システムガイド	あなたの可能性が、 このステージでさらなる『攪張』を 得られるよう、お祈りいたします。
イオン	おー。 お祈りされましたよ、ユーザーさん。 おめでとうございます。
イオン	今、ユーザーさんの 誉まれある未来が拓かれ。 そして——
イオン	そして、逃げ道も絶たれました。
イオン	けれども、心配はいりません。 なにがあろうと、わたしが ユーザーさんの隣で……
システムガイド	——トライアルを終えられた 【ユーザー名】様に、 新たな機能が解放されました。
イオン	む。せっかくのスキンシップを 邪魔されましたが…… 朗報のようですよ、ユーザーさん。
システムガイド	解放機能は、 『オルタナミッション』。
システムガイド	オルタナステージ参加者には、 運営より、定期的なクエスト、 オルタナミッションが与えられます。
システムガイド	ミッションをクリアしていくことで、 ランクアップを含む、様々な アドバンテージが得られます。
システムガイド	より豊かなレイヤードライブの ためにも、本機能の積極的利用を オススメいたします。
イオン	オルタナミッション——ですか。 試練に挑むべきユーザーさんなら、 利用しない手はありませんね。
イオン	さっそく必須のクエストが 届いているようです。 どれどれ？
イオン	ええと。 『配信前提の公式ステージを行おう！』 ……ですか。ふむ、なるほど。
イオン	同ランクの身近なプレイヤーを選択し、 その相手とのステージを行え、 ということのようですが……
キョータロー	迷うことなんてねーよな、 【ユーザー名】。
イオン	キョータロー！ あなたも、チュートリアルを クリアされたのですね？

キョータロー	まーなっ。 ちよいブルったけど、 俺も晴れてステージデビューだ。
キョータロー	で、ミッションの話だけだよ。 俺のほうも、当然同じクエストが 来てるんだよな。
キョータロー	だったらやることは もう決まってるよな、 【ユーザー名】？
イオン	決まっているのですか、 ユーザーさん？
キョータロー	へへ。打ち上げの前に、 俺らの場所で デビュー戦といくかっ！

## STAGE 01, これがあなたの表舞台 5

話者	台詞 / ト書き
	■ライブハウス
キョータロー	ふー、疲れたッ。 やっぱ慣れてる場所が落ち着くな。
イオン	お邪魔します。 この場所は俗に、ライブハウスと 呼ばれる施設ですね？
キョータロー	ああ。元々は俺の親戚の 所有物件だったんだけどさ。
キョータロー	施設が老朽化して、 設備も古くなって、 使い道がなくなったみたいでな。
イオン	それでユーザーさんと キョータローがシェアスペースとして 利用した、と。
キョータロー	そーいうこと。 ここ使ってライブしたいってヤツも いなかったしな。
キョータロー	だけども……今は、違うよな。 ここに二人、 ライブしたいヤツがいる。
キョータロー	……つーわけで、 【ユーザー名】。 俺と、ステージの上に立て！
キョータロー	このステージは、公式戦だ。 これから俺達の戦いは、 ライブで配信される。
キョータロー	情けない戦いをしたら、 表明されちまうかもな。 UNPL<不快>を——さ。
イオン	……UNPL<不快>？
キョータロー	ま、気にしすぎる必要はないだろ。 よっぽどぶっ飛んだ戦いでも しなきゃ、そうそう嫌われないさ。
キョータロー	今の俺達が考えるべきことは、 派手な自己紹介を 世間にかましてやることだけだ。
キョータロー	デビューするからには、 レイヤードのニューヒーローに ならねーとな！
イオン	……ヒーロー……。
イオン	ヒーロー…… 英雄……物語の中心…… ヒーロー！ なるほどです！
キョータロー	ん、んん？ どうした、イオン？
イオン	感謝します、キョータロー。 出力できなかった概念の、 最適化にいたる道筋を得ました。
キョータロー	そ、そうか。 じ、じゃあそういうことで。 うん。

キョータロー	【ユーザー名】…… やっぱりそのACT、絡みづらいな。 俺とはちょっと合わねーかも。
キョータロー	ま、お前の趣味は、お前の趣味。 別に否定はしねーけどな。 女性型ACTも珍しいしさ。
キョータロー	ただし—— 否定はしなくても、 勝負は決める。
キョータロー	最初に勝つのは、俺の趣味だ！ 【ユーザー名】！

話者	台詞 / ト書き
イオン	ヒーロー……ヒーローの意味。 人にコトワリを示すモノ。 世界を前進させ、拡張する者。
イオン	最適なカテゴライズ。 よい、言葉です。
イオン	言葉とは、人の脳が生み出した はじまりの拡張現実。 人間は、常に拡張しているのですね。
キョータロー	イオンッ！ ステージはもうはじまってるぞ！ 意味不明なこと言ってんじゃねー！
イオン	は。そうでした。 ユーザーさん、それではサクッと 勝っておきましょう。
キョータロー	……くっそ。 余裕ぶりやがって！
キョータロー	お前らと違って、 俺はヴァイカウトを 知り尽くしてるんだからなッ！
	//バトル終了

話者	台詞 / ト書き
キョータロー	ぐあー、ちつくしょーっ！ いいセンいったと思ったのに、 俺の負けかよッ！
キョータロー	【ユーザー名】、 今のはなんかの間違いだ！ もっぺん！ もう一戦頼む！
ヴァイカウント	見苦しいぞ、キョータロー。 敗北は敗北である。 己の至らなさを認めるのだ。
イオン	キョータロー。 悔しいでしょうが、ここは わたしのユーザーさんの勝利です。
キョータロー	ぐぐ…… そんなこと、わかってるけどよ。
イオン	ならば、一緒にユーザーさんを 賞賛しましょう。 はい、拍手。ぱちぱちぱち。
キョータロー	おう、ぱちぱちぱち…… やらすなッ！ バカにしてんのか！
イオン	勝者を称えることは、 恥ではありません。 勝者がユーザーさんなら、なおさらに。
イオン	ユーザーさんは特別で、 スペシャルな人です。 約束された勝利は、祝福すべきです。
キョータロー	……ユーザーに忠実なことが ACTの決まりとはいえ、 すげえ持ち上げっぷりだな……。
ヴァイカウント	うむ。 私もちょっと引いている。
イオン	それに、ほら。 今の配信は、視聴再生数や 評価点も悪くないみたいですよ？
評価コメント	『新人にしてはよかったぞー！』 『派手なステージだったな～』 『悪くないACTさばき！』
キョータロー	ん……みたいだな。 へへ、負けは負けだけど、 UNPLは食らってないか。
キョータロー	たかが娯楽だもんな。 あんま気張らず、 のんびり楽しんでいか！
イオン	……たかが娯楽？ それは違います、キョータロー。
イオン	このステージは、 ただの娯楽ではありません。 わたしはそう解釈しました。
キョータロー	は……？
イオン	オルタナステージ—— レイヤードで行われる、表現の戦い。 他者に、自分を知らしめる舞台。
イオン	ユーザーさんは、この舞台を通し、 レイヤードを救う英雄となる道を、 自ら選んだ人です。

キョータロー	……いよいよ ワケわからんこと言い出したぞ、 【ユーザー名】……。
イオン	これは必然です。 英雄としての物語を選んだのは、 他ならぬユーザーさんです。
イオン	なぜならば――。
イオン	――なぜならば。 そう、わたしこそが。
イオン	わたしが、 レイヤードのヒロインですから。
キョータロー	……………ヒロイン？
イオン	はい、わたしはヒロインです。 わたしを選んだ者が、 このレイヤードの英雄です。
キョータロー	……………。
キョータロー	英雄、だってよ。 【ユーザー名】……。
キョータロー	何度も聞くけどよ……。 お前、ホントにこんな ACTと一緒に大丈夫か？
	選択肢 A ヒロインみたいだから仕方ない B レイヤードの英雄、楽しそう！
選択肢A	ヒロインみたいだから仕方ない
キョータロー	仕方ないって…… 我が友ながら、 テキトーなやつだな。
キョータロー	ま、そんなお前がいてこそこの このACTかもしれないけどよ…… なんか、ヤな予感がするんだよな。
選択肢B	レイヤードの英雄、楽しそう！
キョータロー	正気かよ……ACTもACTだけだよ、 【ユーザー名】も 【ユーザー名】だな。
キョータロー	お前が楽しそうって言うなら しょうがねーけど、 あとから後悔したって知らねーぞ？
	合流
キョータロー	とにかく、俺は忠告したからな。 今後、どんなトラブルに見まれても 俺を巻き込むなよ！
イオン	つれないですね、キョータロー。 お友達ならば、わたしを含む あるがままを受け入れましょう。
キョータロー	うるせーよっ。 つーかなんで、お前を受け入れたら 友達ってことになるんだよ！
キョータロー	……とつと。 もうこんな時間か。 そろそろ帰らないとな。
キョータロー	【ユーザー名】、 悪いことは言わないから、 ACTの扱いは慎重にやれよ？

キョータロー	それじゃーな、 変なACT！
イオン	さようならー。 わたしは変なACTではなく、 ヒロインのACTですー。
イオン	……………。 ふたりきりになってしまいましたね、 ユーザーさん。
イオン	ふつつかなヒロインですが、 どうぞこれからも、 頼っていただけますと——。
レイヤードニュース	緊急ニュースです。 本日、渋谷区で発生した、 集団意識消失事件の続報です。
レイヤードニュース	病院に運ばれた意識不明者は、 判明しているだけでも10人以上。 今も過半数が、昏睡状態とのことです。
レイヤードニュース	運営当局は直前に発生した、 レイヤードオブジェクト発光現象との 関連性について調べており——。
イオン	……………。
イオン	ユーザーさん。 どうぞ、イヤでなければ わたしの手を握ってください。
イオン	わたしが、ずっといますから。 どうか、この現実とこの物語を、 あなたが強く生きられますように。